

清水小学校だより 17

令和5年9月19日

文責：藤芳 秀樹

日暮れが少しずつ早くなり、朝の風は涼しく、彼岸花も咲き出しました。やっと秋の足音が聞こえるこの頃です。秋はいろんな勉強や活動に適した季節。清水小学校では学年に応じて様々な活動を展開しています。



例大祭子ども神輿に参加。沿道の人からたくさんの拍手、喝さいが。見ている人みんなが笑顔になっていました。獅子舞には頭をかんでもらいました。賢くなったかな？！



新型コロナで長らく中止していた読み聞かせがスタート。昼休みに学年ごとに実施。指遊びをした後にお話を聞きました。子どもたちは話の世界に惹き込まれていました。



鉄棒の所から、一斉に「先生、見て。」というかわいい声。こうもり、前回り、さかあがり…みんな思い思いの技を披露してくれました。1年生で多彩な技、素晴らしい。



3年生はリコーダーの練習中。曲は「よるこびの歌」、聴いていると年末が近づいた気になりました。いい音を出すには姿勢が大事。みんなの背筋がピンと伸びていました



6年生の理科は「月」の勉強でした。もうすぐ中秋の名月。天気だといいですね。月を見ながら秋の訪れを感じる。そんなゆったりした時間が心の豊かさにつながりますね。



2年生は清水まちづくりセンターに出かけました。「ここでは生涯学習といって、0歳から100歳までの人が学んでいます。」という説明に、みんな驚きの顔でした。



4年生テニス、今日のめあては「点を取られない守備」。タブレットを使ってチームごとにアイデアを出し合います。この班は人や物の配置を工夫して試していました。



5年生は文集「ゆめ」に出品する作品を執筆中。手紙や日記、創作、感想文などから好きなジャンルを選んで書きます。「何を書こう？」個性豊かな作品ができそうです。

めざせ あいさつ日本一

4月からこのキャッチフレーズであいさつ強化を図っています。登校指導や廊下で子どもたちから気持ちのいいあいさつをもらい、学校では少しずつ高まりを感じています。

登校指導中のあいさつは、子どもたちからだけではありません。車の中から保護者や地域の方にもあいさつや会釈をしていただいています。本当に有難いです。逆に、私が気づかず、多くの失礼をしているのでは？ご無礼をお許しください。